

反戦平和行動 唐津 佐世保 長崎に参加して



8月8日炎天下で長崎市内に向けて走る

8月15日敗戦記念日を迎えた。各地で式典が開催され、犠牲者を慰霊し反戦平和の思いを新たにされた。79年前のこの日、ラジオの玉音放送で国民に対して敗戦を告げた。その後、9月2日に東京湾上の戦艦ミズーリで降伏文書に調印し、「ポツダム宣言」を受諾、2年後の1947年5月3日、「日本国憲法」が施行され、戦後復興へと歩みをはじめた歴史を持つ国、日本だ。今、戦争を知らない世代が増えたとは言え、戦争の加害や被害の悲惨さをしつかりと学び、

平和を次世代へと継承しなればならないと考えるのは私だけだろうか。

私は、8月7日から8月9日の3日間で、反戦平和など自転車で各地を巡り訴える唐津・佐世保・長崎・ピースサイクルに参加した。その活動では、7日は、13年になる福島原発事故の再演を憂い玄海原発稼働の停止を申し入れた。さらに猛毒の放射性物質を含む核燃料高レベル廃棄物最終処分場の文献調査を受け入れた玄海町に撤回の申し入れを地域の仲間と共に行った。8日は、「8・8平和を考える長崎集会」に参加、「平和な状態を維持するために必要なものは」と題する飯島(名古屋大学)教授の講演を拝聴、学ぶ。翌9日は、ピースメッセージを長崎原爆資料館館長に手交。その後、11時から開催の爆心地公園慰霊集会に参加するなど一連の活動を行い、私たち

の思いを訴えた。このピースサイクルの取り組みで、地元で活動に取り組み仲間と出会い、意見交流することで、反戦平和、脱原発、環境へのその思いを共有する仲間の輪を広げ、反戦平和、脱原発の思いを共有し、ともに一歩踏み出すことで安全で安心して暮らせる地球、社会を創るものとの思いを深くした。命を大事にできる社会を求め共に進みましょう。(佐藤)



ピースメッセージの手交を終えて。長崎平和資料館館長と共に!

神奈川最賃審議会で意見表明

7月31日に行われた神奈川最賃金審議会において、全国一般神奈川から意見表明を行った。意見表明では神奈川最賃金審議会では神奈川最賃金改定に向けて実態把握が出来ていない問題指摘して、物価上昇に対応した最低賃金確保のため、全国一律最賃制、時給1500円以上を強く訴えた。(以下、意見書「最低賃金を1500円以上に」の骨子)

7月31日に行われた神奈川最賃金審議会において、全国一般神奈川から意見表明を行った。意見表明では神奈川最賃金改定に向けて実態把握が出来ていない問題指摘して、物価上昇に対応した最低賃金確保のため、全国一律最賃制、時給1500円以上を強く訴えた。(以下、意見書「最低賃金を1500円以上に」の骨子)

7月支部代終了後にカレーパーティー開催

7月28日支部代会議終了後に、松田町の加藤農園とらぼおの八谷さん提供のじゃがいもを使ったカレーパーティーが盛大に行われました。組合員のほか、県共闘から小内事務局長、日板の山崎さん親子にも参加していただき、前日の仕込みから野中執行委員が準備した2種類のカレーを皆おいしくいただき、さらに親睦を深めることができました。次回のレクは10月20日にバズキーが予定されています。是非参加ください。

9・22 第27回定期大会へ

労働法制の改悪を許さず、全ての労働者が「安心して働き、生活できる社会」の実現をめざして、定期大会を成功させよう!

第27回定期大会
9月22日(日)

13:00開場
13:30開始
15:30終了

*終了後、別会場にて懇親会開催

神奈川労働プラザ 5・6・7会議室

〒231-0026

神奈川県横浜市中区寿町1丁目4

